

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 621 号	氏名	Luis Rodrigo Hamuy Ortega
学位審査委員	主査	江口 晋	
	副査	宇谷 厚志	
	副査	下川 功	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、サイトカインを付加した分層一期的植皮の有用性を動物モデルを用いて証明しており、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ヌードラットを用い、現在の標準療法である人工真皮を用いた二期的分層植皮群、一期的分層植皮群、一期的人工真皮＋分層植皮群を対照に、サイトカイン付加分層一期的植皮での生着率、拘縮率、新生血管像などを検討しており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 サイトカイン付加分層一期的植皮では、一期的分層植皮群よりも生着率は低いが、現在の標準療法である人工真皮を用いた二期的分層植皮群よりも良好で、粘弾性は向上していた。サイトカイン付加分層一期的植皮は簡便で効果の高い方法として、今後の臨床応用が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は新しい植皮法に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			